



倉吉打吹ライオンズクラブ



No. 1

1970.8

302W複合地区スローガン

青少年に愛と希望を

感 激 の 一 瞬



1970. 4. 19. C. N

例会場	鳥取県倉吉市明治町ナショナル会館	例会日	毎月第2、第4木曜日	12時30分
事務局	鳥取県倉吉市明治町ナショナル会館内	☎682	TEL倉吉(08582)2-8805	
会長	L 林 秀夫 宅 鳥取県倉吉市瀬崎町	☎682	TEL倉吉(08582)2-3068	
幹事	L 小山正行 宅 鳥取県倉吉市巖城	☎682	TEL倉吉(08582)2-2919	



会報創刊に際し

L 林 秀 夫

孔子は、論語の中で「君子和而不同、小人同而不和」と述べられて居ます。私の出身した旧制長岡中学は、山本有三がその戯曲「米百俵」で書いて居る通りの情勢下で開設。次いで、明治5年長岡洋

学校として再生発展した学校でやがて創立100年を迎えようとして居ます。

此の学校の古くからの生徒自治会は「和同会」と名付けられ、私共、漢文を習い初めの生意気盛りに「和而同」なんてインチキだ等と言って居ましたが、長じて大学や軍隊生活、それから色々な団体に關係して得た結論として、団体の全てのメンバーは永く変らぬ友情と融和を保ちながらも、事ある時は、所謂「百家争鳴」あらゆる情報に基づいて活発に討論すべきである。

こうして帰結した方針には挙げて一致協力、実行実現に渾身の力を傾注する。之が団体運営の行き方と確信する次第で、今日では「和而同」まことに結構と存じて居ります。

ライオンズクラブでは、或は私見かも知れませんが例会の場に100%出席し、各自確固たる「ライオンズ」の信念に基づき活発に提案、討論し一応悉しあげた上で委員会で練り上げ、理事会で審議、そして全員の諒承の下に運営又は奉仕活動に移す。之が当然のルールでありたいと思います。従がいて、例会、委員会、理事会の記録の事後確認の場としても、更にはその事実を踏んまいて夫々が感想や意見を発表する等、会員共通の広場としても「会報発行」には重大な意味があると存じます。

まだまだ、所謂「つたい歩き」の段階でしょう。しかし、先程の方針を一層拡大し、会員を経とし、7月に結成した婦人部を緯とした縦横緊密な連繫の下に、吾々のクラブが今後益々発展し、効果的な奉仕活動を行なう為にも此の会報の前途が特に大きく期待されるべきと信じます。

猶又、将来への希望として、こうした実務的な役割だけでなく、吾々は、会報にL、L Lの趣味や知識の交換の場として、今後一段と親睦と融和を画る為の「ミスペース」を早急に設け、有効に活用出来ますように会員全部特に編集委員各位に、格別の御努力と御無理をお願いして「祝発刊」のよろこびのことばに換えます。

婦人部会発足

CN以来懸案だった婦人部は、1970.7.16 L L 24名出席の下に結成会をあげ、L及びL L夫々緊密な連繫の下に会員相互の親睦と理解に資すると共に、L Lの研鑽修養の場とし更にクラブの発展の要素として大いに期待される。



8月理事会報告

8月6日

報告ならびに審議事項

- ① 8月23日のエクスカッション実行委員会編成を決定しました。
- ② ひょうたん島劇団公演に際し、倉吉市当局より協力方依頼の件に就き、審議の結果、否認。
- ③ かねて日本事務所より紹介を受けていた、クラブ評価鑑定質問書申込の件は見合す事に決定。
- ④ ポーイスカウト日本ジャンボリ参加の倉吉3団7名に身体検査、費用 ¥4,900、当クラブで負担した件に就き、之を8月アクティビティーとして採決することにしました。
- ⑤ L今井より7月迄の会計報告あり異議なく承認。
- ⑥ チャーターナイト残品処分に関して、審議の結果「はこた人形」会員各1ヶ宛 ¥500にて引取る事に決定。

尾崎建築設計事務所

L 尾崎 明 雄

倉吉市住吉町68 TEL②3470



会報創刊に

あたつて

幹事 小山正行

今回私共、倉吉打吹ライオンズクラブの会報発刊にあたり衷心うれしく存じている者であります。

去る、1969年11月27日結成会以来もっぱらチャーターナイトにのみ専念して居りました関係上、会報の発刊も多少その準備が遅れて居りましたが、此のたび会員御一同の御協力と、特に情報委員会の皆様の格別の御尽力にあつかり、ここに創刊号の発刊を迎えるに至った次第でありまして、今後毎月1回宛発刊される事になり、逐次充実した会報に育ててゆきたいと念願して居りますので、今後一層の御協力を御願いして止まない次第であります。

私も、幹事の重席をけがさせていただいてより既に半年を経過まいりましたが、スポンサークラブであります倉吉ライオンズクラブの会員御一同様はじめ、皆様の暖かい御支援と御指導によりまして、最近やっと板につきかけて来たところであります。今後、まだまだ勉強しなければならぬ事が山積していますが、極力責務を完うさせていただきたいものと一生懸命努めさせて戴いて居りますので、会報発刊を機に今後一層の御鞭撻と御指導を御願ひ申上げる次第であります。

発刊に当り、一言御挨拶に変えさせて戴きたいと思う次第であります。

結成以来のアクティビティー

1. CN記念事業

消防署前水銀灯一基
市花つづじ420株
ボーイスカウト 天幕三張 寝袋18点
希望の家、八幡寮、因伯子供学園 各金一封

2. 日本ジャンボリー支援：参加の倉吉3団7名に対し
身体検査（検尿、血圧検査を含む）各人診施書2通
付 ¥4,900 (8月1日)

例会だより

7月第2例会 7月23日

実出席 78.7% メークアップ後 97.7%
ファイン及ドネーション ¥5,900

7月第1例会に、最終承認の下記4名の新入会員の紹介。L正次良、L横山和顕、L藤原博、L山根義顕 尚委員会所属は次の通り。健康福祉 L正次、安全L横山 社会改義 L藤原、L山根

幹事報告

- ① 山本L退会の件 兼ねてより退会の意思表示あり 7月16日臨時理事会並びに7月20日会員委員にて、正式退会届の提出あり次第受理する事としていたところ、7月21日正式届出あり 本例会にて退会の旨発表
- ② 7月16日婦人部結成会開催した事報告

例会だより

8月第1例会 8月13日

実出席 81.8% メークアップ後 90.9%
ファイン及ドネーション ¥9,000
ビデター L松岡新平、L牧田実保、L八島六己、
L名越 勉

- ① L松岡新平より、前ガバナー在任中の謝意と世界大会出席の帰朝報告あり、L牧田実保並びに、L八島六己より 倉吉LC、CN10周年記念の参加案内の挨拶あり。

幹事報告

- ① 8月23日の家族会の実行委員会編成メンバー発表。
- ② 当クラブ必携出来上りましたので、各所属委員会計画に基き充分ライオンズムの精神発揮方要請。
- ③ 津山やよいLC、鳥取久松LCチャーターナイトの案内につき報告、登録参加方要請。
- ④ 倉吉LC CN10周年記念9月23日に全員登録して頂く様要請。
- ⑤ ボーイスカウト20周年式典に際し、当クラブに感謝状を贈られたので披露する。

委員会報告

計画委員会より、8月23日エクスカージョンの詳細実施計画は後日郵送。

情報委員会より、会員必携記事一部訂正。

音 田 医 院

内科、小児科

院長 音田 誠介

鳥取県東伯郡羽合町大字田後 TEL(羽合085835) 2058

行事予定 (8月、9月)

倉吉打吹LC 会員必携の通り

おめでとうございます

誕生日

L音田(清) 7月8日 L清水 7月19日
L小川 8月8日 L音田(誠)8月5日

結婚記念日

L矢吹 8月6日

ドネイション

ありがとうございます

L小林 三朝カントリークラブ6月度月例杯優勝
L知久馬 7月28日次男亮平君誕生記念
L延原 新社屋(三階建)完成新装開店記念
L矢吹 打吹LCゴルフ同好会第1回コンペ優勝記念

夏の家族会紀行

実行委員長 名 島 俊 一

台風一過、残暑の中にも吹く風は初秋のさわやかさが感じられる8月23日。快晴に恵まれて倉吉打吹LCの初めての家族会が、蒜山大山スカイラインで行なわれました。定刻に出発した2台のデラックス冷房バスは、約80人のL及びその家族を乗せて、一路目的地に向かって今日の行楽を求め快適に犬狹峠を走っています。県境を越えて道目木を通過すれば、蒜山三山を右に見てやがて車は蒜山国民休暇村にエンジンを止めます。あらかじめ準備された冷えたビールとバーベキューの昼食に舌鼓みをうち、なごやかな雰囲気これから楽しみを語りあいました。昼食後全員そろって記念撮影。ホテルの支配人で真庭LCのL本名に打吹LCのバナーを贈呈し、友愛と親睦を深めた後に、再び車中の人となりました。スカイラインの眺望を左右に見て、そこ雄大な景観に

心をうたれ清々しい気分になりました。左に溪谷、右に象の寝たる姿に似た象山を眺めやがて鏡成国民休暇村に到着しました。小休止の後にこれより全く文字通りの大山環状道路を過ぎ榑水高原に休憩しました。途中の広大な牧場には悠々と草をはむ牛の群れに、そして枯木の点々とした眺めに、公害を離れた一幅の絵画として楽しく、更に後醍醐天皇の御休憩所の御机を通過して、往年の歴史の一片を静かに回顧しました。榑水高原にては近くに大山の英姿に接し改めてその雄大さを認識しましたが、ここよりはるか彼方の日本海とそれに続く弓浜半島並びに鳥根半島を望みながら大休止をしました。その後予定通り9号線を通り日本海を眺めながら、車中にて本日の楽しい家族会の模様を夫々胸にひめ一路帰倉しました。蒜山、大山並びにスカイラインの風景を満喫しましたが、之等は人の心を大きく気高く何にも負けない力強さを私達に訴え、そして静かに見守っていてくれるでしょう。

静かなる日本海をながめつつ大山の嶺に松うえにけり
(昭40年植樹祭に天皇陛下の御歌)



あ と が き

皆さんに尻をたたかれながら、やっとのことで創刊号を発行することが出来ました。なにしろライオン一年生のこと、編集も幼稚で見映えもしませんがお許し下さい。

それでもなんとか、充実したものと微力ながら努力したつもりです。

御批判御指導の程宜しく願います。

発行 倉吉打吹ライオンズクラブ情報委員長 L尾崎明雄 倉吉市住吉町 TEL2-3470
編集 L池口正香 倉吉市越殿町 TEL2-2373

林 医 院

院長 L 林 秀 夫
倉吉市瀬崎町2740 TEL 2-3068